



森林系バイオマス供給の現状について

久保山裕史(森林総合研究所)

大きな混乱の見られない燃料集荷

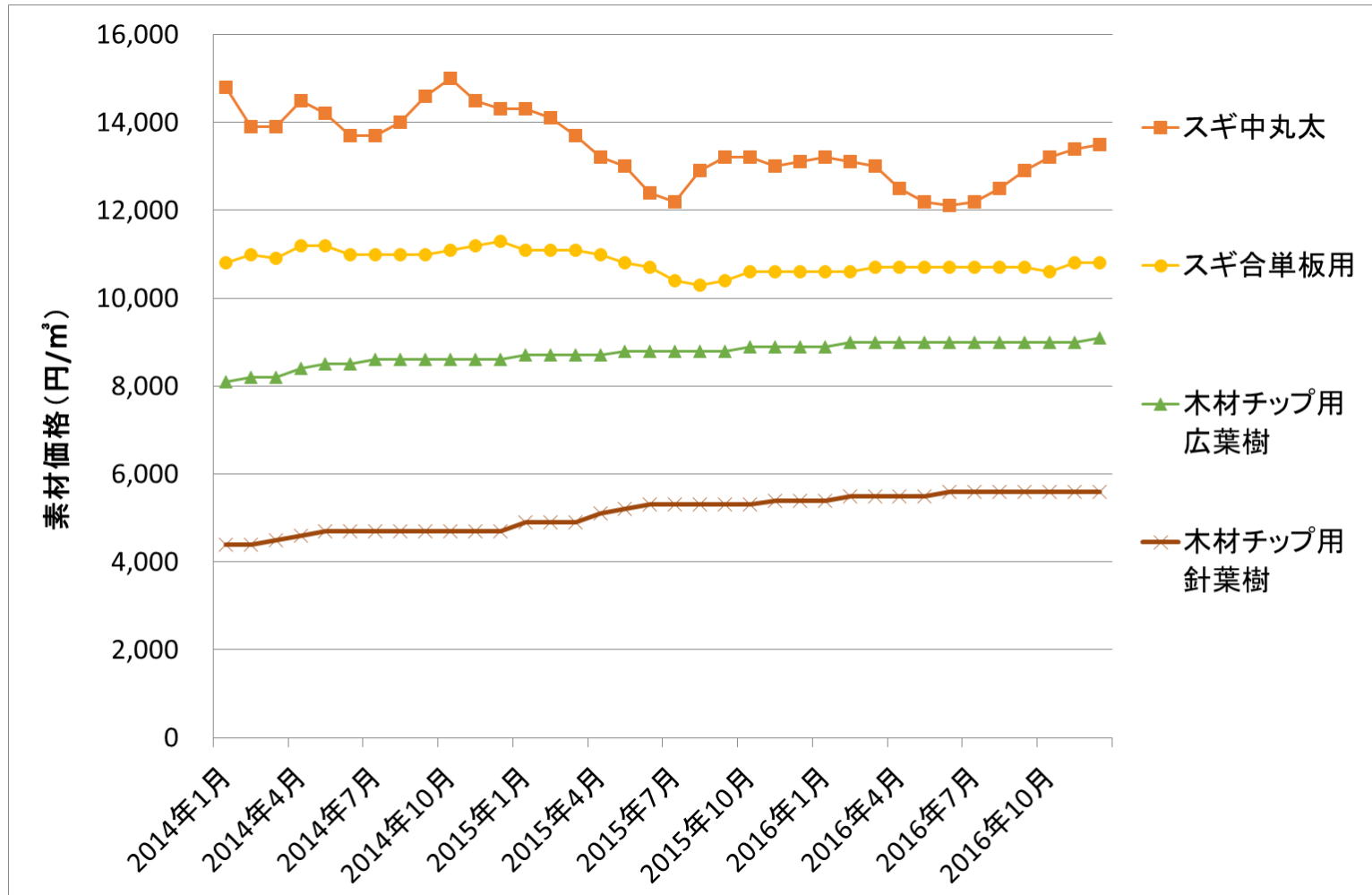
- 未利用バイオマス発電施設は2015年以降に急増
2万kW@2014年 → 20万kW@2015年 → 30万kW@2016年
(認定量は42万kW超)
- 未利用バイオマス消費量は急増
2014年160万m³ → 2015年270万m³ → 2016年推定400万m³前後
= 未利用バイオマス供給は200万m³以上拡大
- 供給拡大の要因
 - ① C・D材の買取り価格の上昇
 - ② 燃料への緩い品質要求

↓

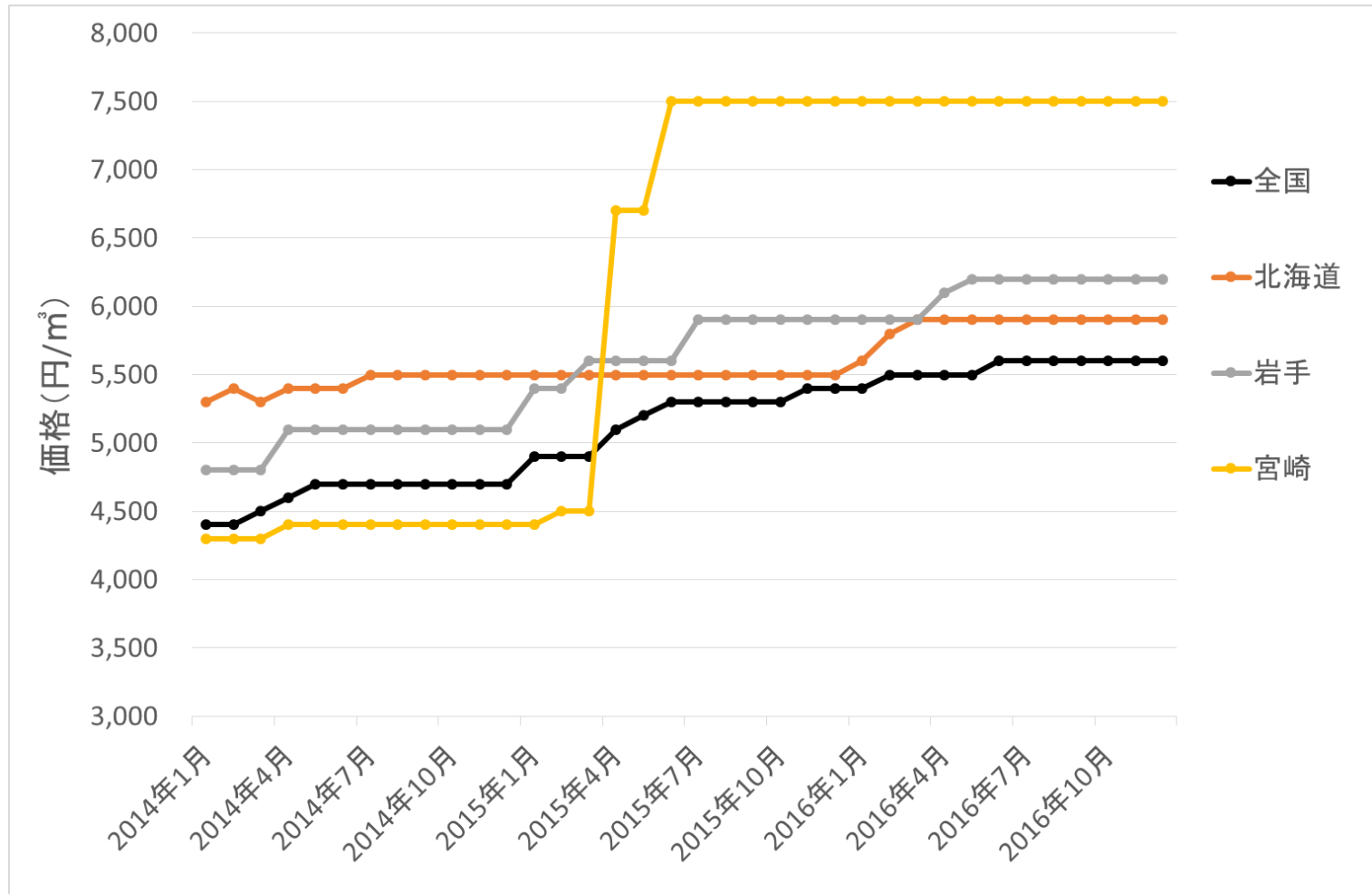
 - ③ 造材歩留まりの向上 : 65% → 90%
 - ④ 伐採量の増加



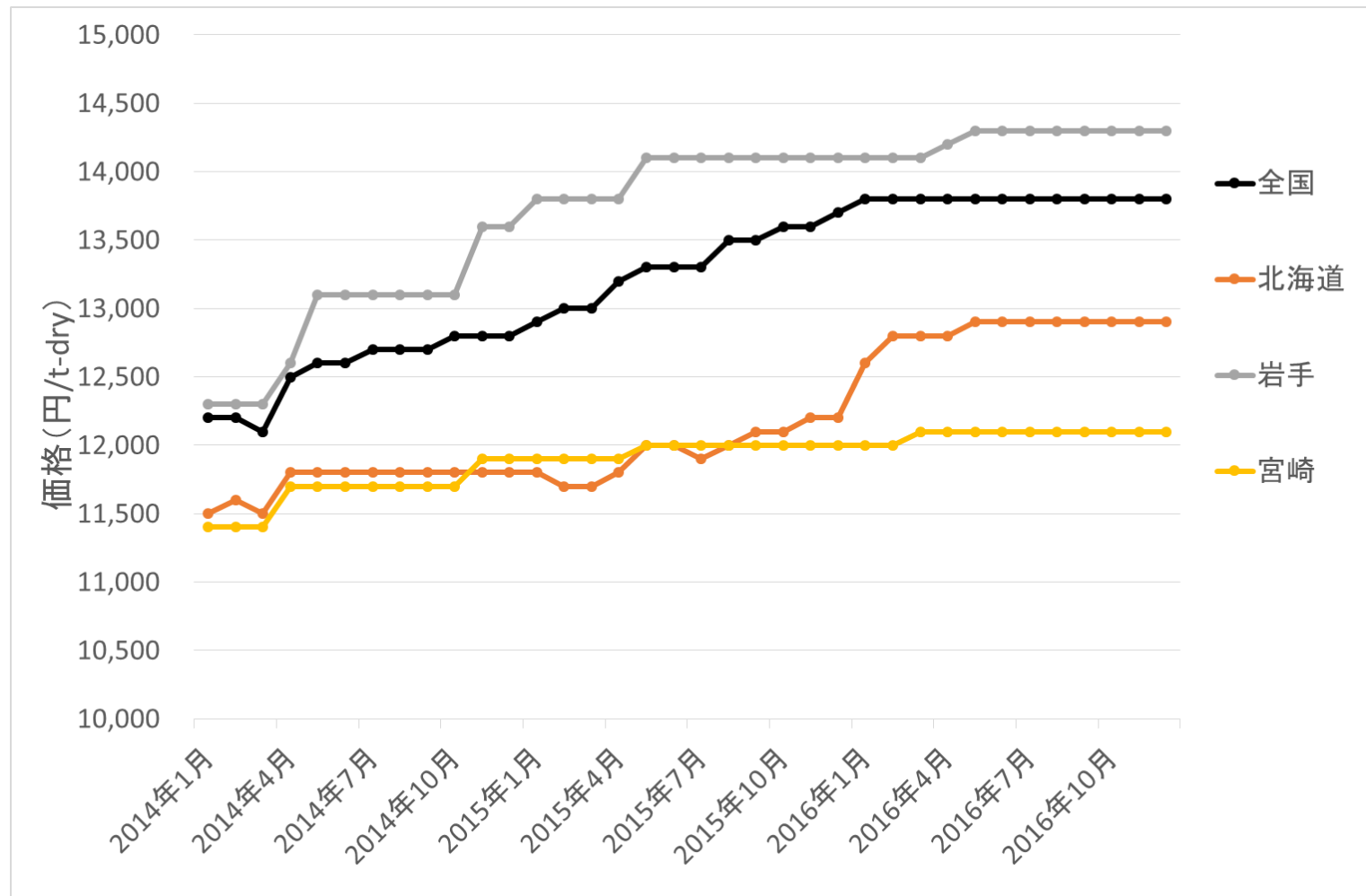
素材価格の動向



針葉樹パルプ材価格の上昇



針葉樹チップ価格の上昇

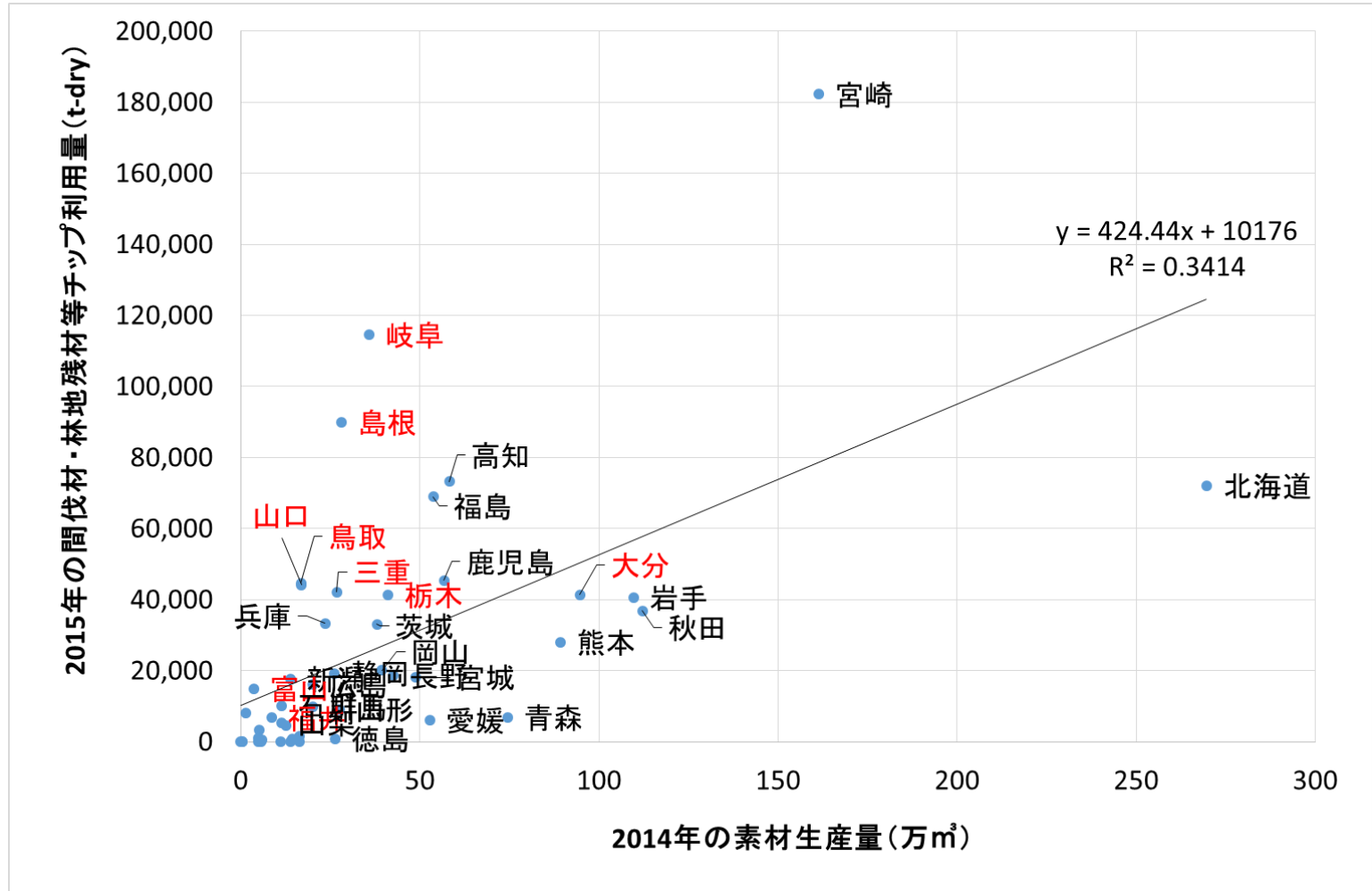


今後の課題

- 未利用バイオマス消費量はさらに増加
2017年推定550万 m^3 以上
→未利用バイオマス需要はさらに200万 m^3 近く増加
- 造材歩留まりの向上は限界に
→枝条の活用＋伐採量の増加
- 需給が逼迫する地域が出る可能性



素材生産能力と燃料需要



※赤字: 燃材需要/針葉樹C材生産量 > 2





どうもありがとうございました。

